

令和5年度
電気学会センサ・マイクロマシン部門
総合研究会プログラム

開催日：令和5年6月30日（金）・7月1日（土）
開催場所：豊田工業大学（愛知県名古屋市）

電気学会センサ・マイクロマシン部門
センサ・マイクロマシン部門各技術委員会

令和5年度 E 部門総合研究会 開催スケジュール

6月30日(金)

時間	A会場 (C1-20 豊田喜一郎記念ホール)	B会場 (C2-C4 障子ラウンジ)
9:00-9:15	開会式	
9:15-10:45	企画セッション (2件) 座長 佐々木実(豊田工業大学)	
休憩(15分)		
11:00-12:00	バイオ・マイクロシステム研究会 (3件) 座長 猪股直生(東北大学)	マイクロマシン・センサシステム研究会 (3件) 座長 村上修一(大阪産業技術研究所)
12:00-12:15	オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー
12:15-12:25	アナウンスメント	
12:25-14:00	昼食(95分)	
14:00-15:40	マイクロマシン・センサシステム研究会 (5件) 座長 戸田雅也(東北大学)	ケミカルセンサ研究会 (5件) 座長 小野寺武(九州大学)
15:40-15:55	オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー
休憩(15分)		
16:10-16:30		バイオ・マイクロシステム研究会 (4件) 座長 二川雅登(静岡大学)
16:30-17:30	マイクロマシン・センサシステム研究会 (3件) 座長 神田健介(兵庫県立大学)	
17:30-17:45	オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー
休憩(15分)		
18:00-19:00	参加者交流会	

7月1日(土)

時間	A会場 (C1-20 豊田喜一郎記念ホール)	B会場 (C2-C4 障子ラウンジ)
9:00-10:10	国際セッション (2件) 座長 佐々木実(豊田工業大学)	
10:10-10:25	休憩(15分)	
10:25-10:45	バイオ・マイクロシステム研究会 (4件) 座長 土肥徹次(中央大学)	
10:45-11:45		マイクロマシン・センサシステム研究会 (3件) 座長 寒川雅之(新潟大学)
11:45-12:00	オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー
12:00-12:10	アナウンスメント	
12:10-13:45	昼食(95分)	
13:45-15:25	ケミカルセンサ研究会 (5件) 座長 岩田達哉(富山県立大学)	マイクロマシン・センサシステム研究会 (5件) 座長 池沢聡(早稲田大学)
15:25-15:40	オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー
15:40-15:55	閉会式	

発表時間: 1件あたり20分(発表15分, 質疑応答3分, 交代時間2分)

オーサーズインタビュー: 討論15分

総合研究会プログラム目次

総合研究会開催案内	1
研究会プログラム	8
役員・実行委員	19
電気学会 E 部門誌への論文投稿ご案内	21
電気学会 E 部門への入会案内	22
第 40 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム (センサ・マイクロマシン部門大会)のご案内	23

令和5年度センサ・マイクロマシン部門 総合研究会開催案内

ようこそ、E部門総合研究会にご参加頂きました。まだまだ注意が必要な新型コロナウイルス感染症ですが5類に移行しました。昨年の金沢開催に続き、対面開催します。場所は、豊田工業大学です。3年前のコロナ禍に入った2020年6月に完成した更新キャンパスを利用します。この地は(株)豊田中央研究所があった場所ですが、五十嵐伊勢美氏らによりピエゾ抵抗素子のセンサ技術が生まれ、日本のMEMSがスタートする源流となりました。また、今日の情報化社会を支える(株)デンソーのQRコード発明にも重要な役割を担いました。これらの技術について、生誕の場所から学ぶ企画を用意しました。また、京都で行われた国際会議Transducers 2023直後であることを生かし海外の講師をお二人お招きしました。

久しぶりの現地かつ大学開催のため、至らぬ点多々生じるとは思いますが、本研究会を活用して、次なる発展の糧にして頂きますことを心から願っております。また、開催にあたりまして、実行委員会、電気学会(役員会および事務局)、セミコンダクタポータル社をはじめ多くの方々のご協力を頂きました。また、豊田工業大学からは、保立学長をはじめ事務局の方々から、ご支援を頂きました。ここに御礼申し上げます。

会 期 2023年6月30日(金)～7月1日(土)

会 場 豊田工業大学

住 所 〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目12番地1

交通アクセス <https://www.toyota-ti.ac.jp/access.html>

研究会(開催スケジュールと会場は別紙参照)

- ① マイクロマシン・センサシステム(MSS)研究会
(マイクロマシン・センサシステムとそのプロセス技術および一般)
- ② ケミカルセンサ(CHS)研究会
(ケミカル・バイオセンサとそのプロセス技術および一般)
- ③ バイオ・マイクロシステム(BMS)研究会
(バイオ・マイクロシステムとそのプロセス技術および一般)

口頭発表時間 : 1件あたり20分(発表15分+質疑応答3分+交代時間2分)

オーサーズインタビュー : 討論 15分

研究会セッション終了後に、参加者による議論・交流を深めるためのオーサーズインタビューを実施予定です。講演者はセッションの終了後に、C2-09 da Vinci 広場（会場マップ参照）に設置された所定のボードに、発表スライドを印刷した A4 紙を掲示してください。

企画セッション：技術誕生の地から学ぶ（1 件あたり 45 分（発表 + 質疑応答））

①チュートリアル講演

杉山 進（立命館大学名誉教授）

「ピエゾ抵抗式半導体圧力センサ開発の道のり」

②招待講演

長屋 隆之（豊田中央研究所），原昌宏（デンソーウェーブ）

「QR コードの開発」

国際セッション（1 件あたり 35 分（発表 30 分+質疑応答 5 分））

Zhuqing Wang (Sichuan University, China)

“Development of Semiconductor and MEMS in the Context of Fusion of Medicine and Engineering — Team Construction and Future Vision”

Chengkuo Lee (National University of Singapore)

“Advances in nanosensors for future AIoT Applications”

昼食

コロナ対策を兼ねて、お弁当を 2 日とも支給します。支給場所は受付です。名古屋の、あの名物を味わって、夏バテ防止に役立ててください。

参加者交流会

日 時：6 月 30 日（金）18:00～（予定）

会 場：A 会場（C1-20 豊田喜一郎記念ホール）

参加費：無料

参加費（総合研究会資料含む）

参加費は、下記 URL または QR コードよりイベント管理サービス「Peatix」にアクセス、ご登録の上、できるだけ会場にお越しになる前にお支払いを完了してください。

参加登録および参加費お支払いサイト：<https://ieej-esoken2023.peatix.com/>

電気学会正員	10,000 円（税込）
電気学会 学生員（準員含む）	5,000 円（税込）
入会キャンペーン（正員）	10,000 円（税込）
入会キャンペーン（学生）	5,000 円（税込）
会員外一般	15,500 円（税込）
会員外学生	8,500 円（税込）



※ 領収書が必要な方は、お申込後に Peatix の「領収データ」をご利用ください。

参考：<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821741>

この機会に電気学会入会キャンペーンをご利用の方は、参加者情報登録時に、「入会キャンペーン」区分でご登録ください。

入会キャンペーン

本研究会では、研究会に参加された学生さん、ならびにセンサ関係部署配属 4 年以内の一般の方を対象として、入会キャンペーンを行っております。本キャンペーンで入会された方は、本研究会参加費の会員価格が適用されます。この機会に是非ともご入会ください！

学生：初年度年会費 4,800 円を入会后 1 年間に限り免除

センサ関係部署配属 4 年以内の方を対象とした一般の方：入会金・初年度年会費 11,200 円の内、5,200 円を入会后 1 年間に限り減額（ご本人負担額 6,000 円）

※ 入会キャンペーン申込の留意事項

本キャンペーンで入会された方は、本研究会参加費も会員価格が適用されます。ただし、適用は、E 部門総合研究会の参加登録を本サイトで受け付けている期間内に限られます。適用条件である①電気学会への入会+②E 部門総合研究会への参加、の両条件を満たしていない方、満たしていても研究会後のお申し出はお受けいたしかねます。詳細はイベント参加申込サイトの Peatix の イベント案内文をご参照ください。

技術者継続研鑽（CPD）

本総合研究会へのご参加・論文発表等は、当学会が登録・管理する継続研鑽（Continuing Professional Development）の証明サービスの対象です。CPD 登録会員は参加証、領収書、テキスト表紙コピー等、聴講や発表したことが確認できるエビデンスを保管し、CPD 実績証明書の発行申請時にはそれらを提出して下さい。

電気学会 CPD 登録会員は随時募集しています。詳細は次の URL をご覧下さい。

https://www.iee.jp/member_serv/cpd/

問合せ先

実行委員長 佐々木 実（豊田工業大学） [mnr-sasaki\(at\)toyota-ti.ac.jp](mailto:mnr-sasaki(at)toyota-ti.ac.jp)

電気学会事業サービス課 [event\(at\)iee.or.jp](mailto:event(at)iee.or.jp) ※(at)=@

主 催

電気学会センサ・マイクロマシン（E）部門 3 技術委員会

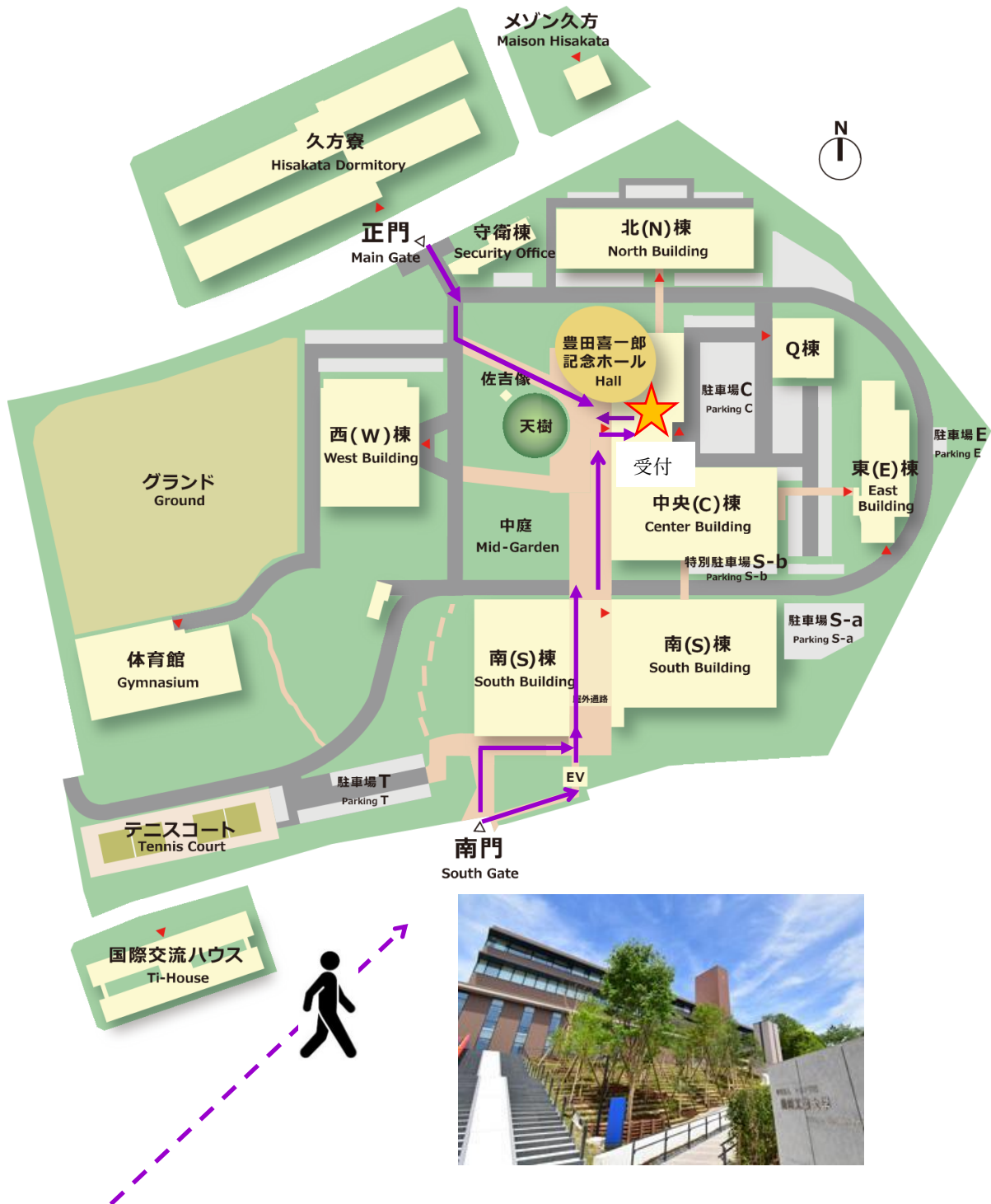
（マイクロマシン・センサシステム、ケミカルセンサ、バイオ・マイクロシステム）

協 賛

文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業

「高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル」領域

豊田工業大学キャンパスマップ



地下鉄桜通線「相生山駅」から徒歩 10-15min

会場マップ

中央(C)棟 1階

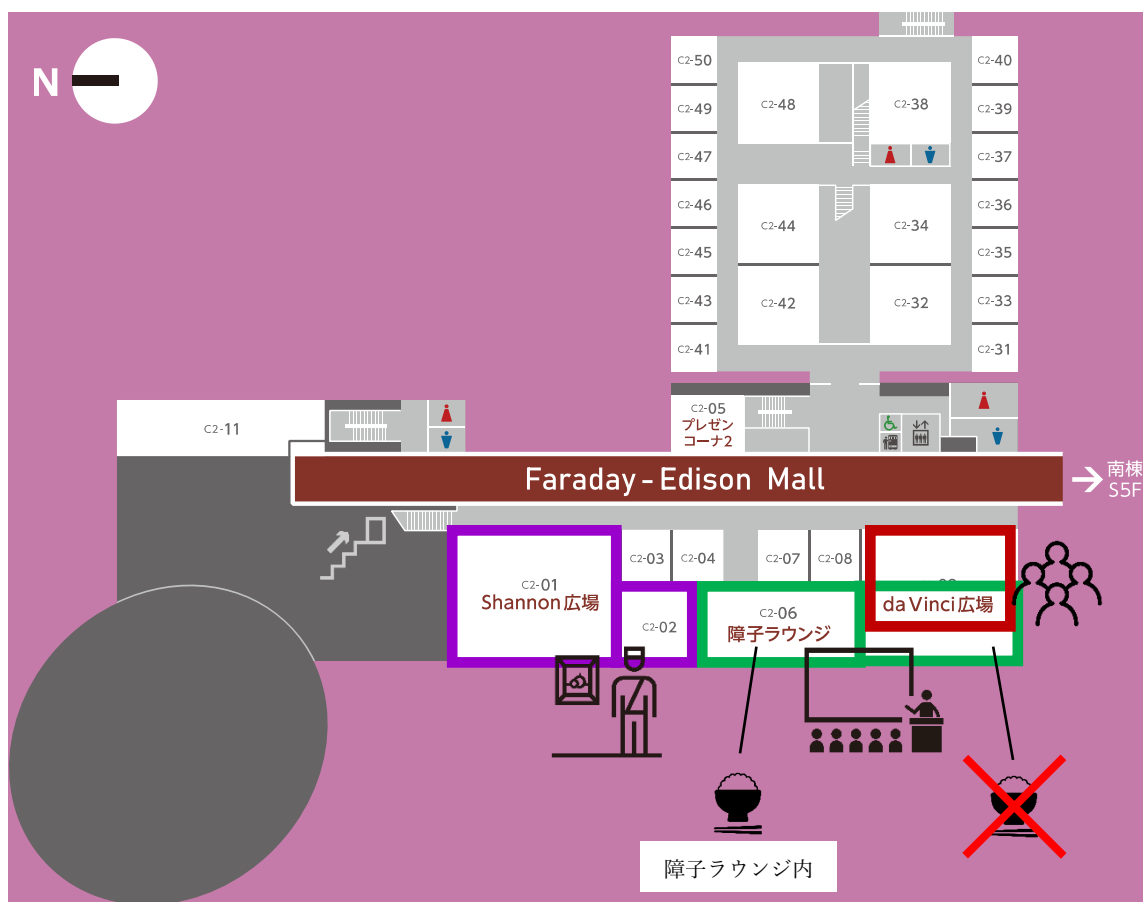


受付 : C 棟ロビー (兼お弁当支給場所)

講演 A 会場 : 豊田喜一郎 記念ホール (飲食禁止)

喫食場所 : C1-41, C1-43, および2階 C2-06 障子ラウンジ内

中央(C)棟 2階



- | | |
|---------------|--|
| 展示会場 | : C2-01 Shannon 広場 (飲食可) および
C2-02 (飲食禁止) |
| 講演 B 会場 | : C2-06 障子ラウンジ (喫食可) ,
C2-09 da Vinci 広場 (蓋付き飲料のみ可) |
| オーサーズインタビュー会場 | : C2-09 da Vinci 広場 (蓋付き飲料のみ可) |
| 各種の委員会むけ小部屋 | : C2-04, C2-07, C2-08 (蓋付き飲料のみ可) |

マイクロマシン・センサシステム研究会

〔委員長〕 戸田雅也(東北大学)

〔副委員長〕 寒川雅之(新潟大学)

〔幹事〕 櫻井淳平(名古屋大学)

日時 2023年6月30日(金) 11:00~17:30

2023年7月1日(土) 10:45~15:25

場所 豊田工業大学

議題 テーマ「マイクロマシン・センサシステムとそのプロセス技術および一般」

(B会場) 6月30日(金) 11:00~12:00 テーマ「マイクロマシン・センサシステム
(1)」

座長 村上修一(大阪産業技術研究所)

MSS-23-020 滴下衝突を利用した圧電 MEMS エナジーハーベスタ

◎成田裕樹, 神田健介, 前中一介(兵庫県立大学)

MSS-23-021 バタフライ形状を持つ圧電 MEMS 振動ハーベスタ

◎野村明弘, 神田健介, 横田隆人, 前中一介(兵庫県立大学)

MSS-23-022 リチウムイオン電池向けポラス微細構造付き Si 負極

◎時吉純平, 原 正則, 吉村雅満(豊田工業大学), 齊藤誠法(アイセロ), 佐々木実(豊田工業大学)

(A会場) 6月30日(金) 14:00~15:40 テーマ「マイクロマシン・センサシステム
(2)」

座長 戸田雅也(東北大学)

MSS-23-023 凹曲面への微細パターン転写における位置合わせと歪抑制

◎久木野陽充(豊田工業大学), 齊藤誠法(アイセロ), 佐々木実(豊田工業大学)

MSS-23-024 撥水機能のためのマイクロテクスチャ付き圧延ロール

◎井坂太閤(豊田工業大学), 齊藤誠法(アイセロ), 佐々木実(豊田工業大学)

MSS-23-025 折り線を有する切り紙構造の折り上げのための折り線部と平板部の曲げ剛性比の設計

◎河原慶嗣, 岩瀬英治(早稲田大学)

MSS-23-026 マイクロニードル付き吸盤の穿刺抵抗力和押付け力の評価

◎小口篤紀, 岩瀬英治(早稲田大学)

MSS-23-027 ジュール熱加振技術による架橋グラフェンの共振特性の評価と共振振幅の比較

◎Pham Viet Khoa(豊橋技術科学大学), 秋田一平(国立研究開発法人産業技術総合研究所), 崔 容俊, 野田俊彦, 澤田和明, 高橋一浩(豊橋技術科学大学)

(A 会場) 6 月 30 日(金) 16:30~17:30 テーマ「マイクロマシン・センサシステム(3)」

座長 神田健介(兵庫県立大学)

MSS-23-028 静電アクチュエータのための狭ギャップ構造形成

◎片山徹哉(豊田工業大学), 齊藤誠法(アイセロ), 佐々木実(豊田工業大学)

MSS-23-029 Force Rebalance 制御をともなった静電式共振型加速度センサのシミュレーションによる動作検証

◎近藤大暉, 畑 良幸(名城大学)

MSS-23-030 高精度化に向けた Force Rebalance 制御とデカップリング構造をともなった高 Q 値 2 軸加速度センサの構想提案と検証デバイスの作製

◎武田悠吾, 川野遥暉, 畑 良幸(名城大学)

MSS-23-031 [欠番]

(B会場) 7月1日(土) 10:45~11:45 テーマ「マイクロマシン・センサシステム
(4)」

座長 寒川雅之(新潟大学)

MSS-23-032 照射光多点分配のためのメタサーフェス光学素子の開発

○池沢 聡(早稲田大学), 藤田真由, 岩見健太郎(東京農工大学)

MSS-23-033 円二色性を高めるスパイラルメタマテリアル構造の研究

丸山晃平(電気通信大学), 水名 京(早稲田大学), 小菅拓也(電気
通信大学), 武田湧希, 岩瀬英治(早稲田大学), ○菅 哲朗(電気通
信大学)

MSS-23-034 [欠番]

MSS-23-035 葉の表面の濡れ状態を模した微細凹凸構造を有する液滴検出センサ
に関する研究

嶋村悠人, 松阪晃佑, 山崎 亮(国立高等専門学校機構/和歌山工業
高等専門学校), 峯田 貴(山形大学), ◎徐 嘉楽(国立高等専門学
校機構/和歌山工業高等専門学校)

MSS-23-036 [欠番]

(B会場) 7月1日(土) 13:45~15:25 テーマ「マイクロマシン・センサシステム
(5)」

座長 池沢 聡(早稲田大学)

MSS-23-037 Si カンチレバー上のナノダイヤモンドによる静磁場下多軸応力センシ
ング

山川幹太, 落合宥太, 小野崇人, ○戸田雅也(東北大学)

MSS-23-038 多軸触覚センサのための検知素子の位置最適化

◎若林陽彩, 門田秀人, 安部 隆, 寒川雅之(新潟大学)

MSS-23-039 高成形性形状記憶合金製触覚ディスプレイ用アクチュエータの駆動特性

◎乾 和雅, 村瀬正憲, 岡智絵美, 秦 誠一, 櫻井淳平(名古屋大学)

MSS-23-040 7x7 SMA 厚膜アクチュエータアレイ MEMS 触覚ディスプレイの形成とフレキシブル化のための基板分離法の検討

◎田村晴紀, 天野晏年, 齋藤 涼, 峯田 貴(山形大学)

MSS-23-041 SMA 厚膜型せん断振動触覚ディスプレイのための SU-8 ばね機構の一括形成法の開発

◎清水広人, 佐藤勇人, 峯田 貴(山形大学)

ケミカルセンサ研究会

〔委員長〕 長谷川有貴(埼玉大学)

〔幹事〕 二川雅登(静岡大学)

〔幹事補佐〕 飯谷健太(東京医科歯科大学), 松倉 悠(電気通信大学)

日時 2023年6月30日(金) 14:00~15:40

2023年7月1日(土) 13:45~15:25

場所 豊田工業大学

議題 テーマ「ケミカル・バイオセンサとそのプロセス技術および一般」

(B会場) 6月30日(金) 14:00~15:40 テーマ「ケミカルセンサ(1)」

座長 小野寺武(九州大学)

CHS-23-016 動く電子回路技術のための位置制御用物理センサ集積化

◎石田佳洋(九州大学), 大塚 陸, 張 詩芸, 林 健司, 佐々文洋
(九州大学)

CHS-23-017 温度変調を用いた単一センサによるおいセンサシステムの試作

佐伯真彬, 大倉裕貴, 吉河武文, ○岩田達哉(富山県立大学)

CHS-23-018 プラズモニクガスセンサ応答のプロセス条件に関する検討

◎熊副慎悟, 松岡 真聖(九州大学), 佐々 文洋, 林 健司(システム
情報科学研究院)

CHS-23-019 2次元 SERS センサによるガス源の可視化

◎山田健太, 松尾拓哉, 陳 林, 佐々文洋, 林 健司(九州大学)

CHS-23-020 不織布を基材とした表面増強ラマン散乱基板の開発

○田原祐助, 西山貴史, 山本純也, 富澤 錬(信州大学)

(A会場) 7月1日(土) 13:45~15:25 テーマ「ケミカルセンサ(2)」

座長 岩田達哉(富山県立大学)

CHS-23-021 ジアゾカップリング反応を用いた前処理により実現する味覚センサによる高感度辛味測定

◎豊満賢一郎, 木村俊輔, 小野寺武(九州大学)

CHS-23-022 盆栽の植物生体電位と周囲環境要因の相関性に関する研究

◎山田智裕, 長谷川有貴(埼玉大学)

CHS-23-023 短時間かつ微小信号計測可能な熱電型土壌水分量センサシステムの開発

◎長根尾修平, 佐藤晴紀, 大多哲史, 二川雅登(静岡大学)

CHS-23-024 表面修飾溶液の膜厚による QCM の疎水性物質選択性及び感度への影響

○八代 陸, 安藤 毅(千葉工業大学)

CHS-23-025 Olfactory White を活用した匂い再現装置に関する基礎的研究—調合比決定手法の収束性向上に向けた検討—

◎千田隆介, 鈴木雄大(東京農工大学), 松倉 悠(電気通信大学),
石田 寛(東京農工大学)

バイオ・マイクロシステム研究会

〔委員長〕 工藤寛之(明治大学)

〔幹事〕 永井萌土(豊橋技術科学大学)

〔幹事補佐〕 田畑美幸(東京農工大学), 二川雅登(静岡大学)

日時 2023年6月30日(金) 11:00~17:30

2023年7月1日(土) 10:25~11:45

場所 豊田工業大学

議題 テーマ「バイオ・マイクロシステムとそのプロセス技術および一般」

(A会場) 6月30日(金) 11:00~12:00 テーマ「バイオ・マイクロシステム(1)」

座長 猪股直生(東北大学)

BMS-23-008 CMOS スマート電極搭載人工視覚デバイス用フレキシブル薄膜基板
の開発

◎欧陽鑫垣, 潘 愷(奈良先端科学技術大学院大学), 高野拓郎,
寺澤靖雄(奈良先端科学技術大学院大学/ニデック), 須永圭紀, 竹原
浩成(奈良先端科学技術大学院大学), 春田牧人(奈良先端科学技術
大学院大学/公立千歳科学技術大学), 田代洋行(奈良先端科学技術
大学院大学/九州大学), 笹川清隆, 太田 淳(奈良先端科学技術大
学院大学)

BMS-23-009 MEMS 3軸力センサの位置変動が起き難い角度調整機構を持つ眼鏡
型ウェアラブル血圧脈波計測デバイス

◎大竹巧真, 土肥徹次(中央大学)

BMS-23-010 頭部での高精度な血圧脈波計測のための高剛性なテンプルを用いた
眼鏡型デバイス

◎神山航士郎, 土肥徹次(中央大学)

(B会場) 6月30日(金) 16:10~17:30 テーマ「バイオ・マイクロシステム(2)」

座長 二川雅登(静岡大学)

BMS-23-011 統合型ウェアラブル生体計測のためのモバイルプラットフォームの開発

◎河奈正太郎, 山田樹生(明治大学大学院), 工藤寛之(明治大学)

BMS-23-012 SU-8 の絶縁層をもつ小型 MRI 用勾配磁場マイクロコイル

◎千代渉太, 土肥徹次(中央大学)

BMS-23-013 フレキシブル基板と 3 次元治具を用いた山型 2 重巻き構造を持つ MRI 用マイクロコイル

◎山口昇亮, 土肥徹次(中央大学)

BMS-23-014 ヒト iPS 細胞由来ポドサイトを用いたアドリアマイシン誘発系球体疾患モデル

◎Koh Darryl, 田淵 史(京都大学), 藪内研佑, 佐原義基, 高里 実
(理化学研究所), 藤本和也, 横川隆司(京都大学)

(A 会場) 7 月 1 日(土) 10:25~11:45 テーマ「バイオ・マイクロシステム(3)」

座長 土肥徹次(中央大学)

BMS-23-015 A microfluidic approach to study drug resistance in osteosarcoma cells

*Rafia Inaam(Toyohashi University of Technology), Marcela Bolontrade(University Institute of the Italian Hospital), Moeto Nagai(Toyohashi University of Technology)

BMS-23-016 高感度マイクロサーミスタを用いた単一細胞の熱物性評価

◎猪股 直生, 宮本拓実(東北大学), 岡部弘基(東京大学), 小野崇人(東北大学)

BMS-23-017 ペリスタポンプ一体型マイクロピペットアレイを用いた単一細胞の捕獲と吐出評価

©宅和宏樹, 川名絃太, 長谷川篤哉, 岡本俊哉, 柴田隆行, 永井萌
土(豊橋技術科学大学)

BMS-23-018 2D Impedance measurement with a TFT array device in the aim of cell
culture characterization

©胡 星卓, 年吉 洋, Tixier-Mita Agnes(東京大学生産技術研究所)

マイクロマシン・センサシステム/ケミカルセンサ

/バイオ・マイクロシステム合同研究会

〔委員長〕戸田雅也(東北大学)

〔副委員長〕寒川雅之(新潟大学)

〔幹事〕櫻井淳平(名古屋大学)

〔委員長〕長谷川有貴(埼玉大学)

〔幹事〕二川雅登(静岡大学)

〔幹事補佐〕飯谷健太(東京医科歯科大学), 松倉 悠(電気通信大学)

〔委員長〕工藤寛之(明治大学)

〔幹事〕永井萌土(豊橋技術科学大学)

〔幹事補佐〕田畑美幸(東京農工大学), 二川雅登(静岡大学)

日時 2023年6月30日(金) 9:15~10:45 企画セッション

2023年7月1日(土) 9:00~10:10 国際セッション

場所 豊田工業大学

議題 テーマ「企画セッション」および「国際セッション」

(A会場) 6月30日(金) 9:15~10:45 テーマ「企画セッション」

座長 佐々木実(豊田工業大学)

MSS-23-042 ピエゾ抵抗式半導体圧力センサ開発の道のり

CHS-23-026

BMS-23-019

○杉山 進(立命館大学)

MSS-23-043 QRコードの開発

CHS-23-027

BMS-23-020

○長屋隆之(豊田中央研究所), 原 昌宏(デンソーウェーブ)

(A 会場) 7月1日(土) 9:00~10:10 テーマ「国際セッション」

Development of Semiconductor and MEMS in the Context of Fusion
of Medicine and Engineering---Team Construction and Future Vision

Zhuqing Wang

Advances in nanosensors for future AIoT Applications

Chengkuo Lee (National University of Singapore)

令和5年度
センサ・マイクロマシン部門 役員会

部門長	年吉 洋	東京大学
副部門長	田中 秀治 佐々木 実	東北大学 豊田工業大学
総務企画担当	高橋 一浩 岩瀬 英治	豊橋技術科学大学 早稲田大学
会計担当	久米村百子 山田 駿介	九州工業大学 東北大学
編修担当	小野寺 武 菅野 公二	九州大学 神戸大学
研究調査担当	日暮 栄治 横川 隆司	東北大学 京都大学
監事	小西 聡 式田 光宏	立命館大学 広島市立大学
国際活動担当	後藤 正英	日本放送協会
委員	磯部 良彦 加納 一彦 神田 健介 澤田 和明 菅野 公二 鶴岡 典子 戸津健太郎 長谷川有貴 山下 馨	ミライズテクノロジーズ デンソー 兵庫県立大学 豊橋技術科学大学 神戸大学 東北大学 東北大学 埼玉大学 京都工芸繊維大学

令和5年度電気学会

センサ・マイクロマシン部門 総合研究会 実行委員会

実行委員長	佐々木 実	豊田工業大学
	戸田 雅也	東北大学
副委員長	工藤 寛之	明治大学
	田中 秀治	東北大学
幹事	櫻井 淳平	名古屋大学
副幹事	田畑 美幸	東京農工大学
委員 (総務)	高橋 一浩	豊橋技術科学大学
委員 (財務)	三田 吉郎	東京大学
	久米村 百子	九州工業大学
委員 (オブザーバー)	日暮 栄治	東北大学
委員 (E部門誌)	菅野 公二	神戸大学
委員 (若手企画)	船橋 博文	豊田中央研究所
委員 (若手企画)	杉山 進	立命館大学
論文委員長	岩瀬 英治	早稲田大学
論文副委員長	永井 萌土	豊橋技術科学大学
論文幹事	神田 健介	兵庫県立大学
	田原 祐助	信州大学
	野田 俊彦	豊橋技術科学大学
	村上 修一	大阪産業技術研究所
論文委員	池沢 聡	早稲田大学
	猪股 直生	東北大学
	岩田 達哉	富山県立大学

電気学会センサ・マイクロマシン部門誌(E部門誌)への投稿のご案内

— E部門誌では今年も「総合研究会特集号」を企画いたします —

電気学会E部門編修委員長
佐々木 実

論文誌 E では、2024 年 5 月号に「令和 4 年度センサ・マイクロマシン部門総合研究会」特集号を企画しています。

E 部門では、平成 25 年度よりセンサ・マイクロマシン部門総合研究会と部門誌が連携して「総合研究会特集号」を企画しております。総合研究会にご投稿される「研究会資料」をもとに加筆のうえ、論文誌にご投稿いただくことができます（一般投稿論文と同様の査読プロセスが入ります）。令和 5 年度（2023 年度）総合研究会の特集号は 2024 年 5 月号として発行の予定です。研究会資料として執筆いただいた研究の内容を「査読付学術論文」とするために、是非この機会をご利用いただいでご投稿いただきますようお願い申し上げます。

非会員のみによる投稿もできますが、この機会にぜひ電気学会へご入会ください。非会員のみの投稿に比べて掲載料もお得になります。

投稿締切

令和 5 年(2023 年) 8 月 25 日(金)

刷り上り 6 ページ程度、和文または英文、レター（刷り上り 2 ページ）も可。

投稿方法

電気学会への論文投稿に関しましては、下記の電気学会ホームページ (<http://www.iee.jp>) に詳細説明がありますのでご参照ください。Web 投稿をご利用の上、投稿先「論文誌 E」、原稿種別「論文／研究開発レター」を選択し、特集テーマ「令和 5 年度センサ・マイクロマシン部門総合研究会特集号」を選択してください。

投稿手引／投稿先 URL

<https://www.iee.jp/pub/post/>

ご不明な点等ございましたら、下記までメールにてお気軽にお尋ねください。みなさまの E 部門誌へのご投稿を心よりお待ちしております。

問合せ先

E 部門誌 編修委員会

菅野 公二（神戸大学）

E-mail: sugano@mech.kobe-u.ac.jp

ようこそ

電気学会 センサ・マイクロマシン部門（E部門）へ

センサやマイクロマシンは、ますます高度化が進むシステムの要となり、小さくても、その影響はシステム全体にひろがります。この21世紀の新しい基盤技術を分野の枠を超えて協力し合い推進するため、研究発表や交流の場としてE部門が設けられました[1, 2]。

E部門に入会すると、電気学会誌とセンサ・マイクロマシン部門誌（E部門誌）の電子ジャーナル版を閲覧できます。E部門誌にはセンサやマイクロマシンに関する技術情報が満載で、この分野の会議や講習会などに関する世界中の情報なども入手できます。

E部門誌を論文発表の場として御活用下さい。和文英文は問いません、また特集号の論文募集も行います。詳細は「電気学会部門誌への投稿手引」をご参照下さい（論文投稿に関するお問い合わせは電気学会誌編修課まで）。

この他、全国大会・シンポジウム・研究会などで研究成果を発表し、専門家同士で突っ込んだ討論ができます。特に、「センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム」は毎年電気学会主催で開催され、我が国でこの分野の最大の会として重要な役割を果たしてきました。また、同会場にて日本機械学会マイクロ・ナノ工学専門会議主催「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」および応用物理学会集積化MEMS技術研究会主催「集積化MEMSシンポジウム」等も開催されます。学会横断的な情報交換、ディスカッションが出来る貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。

マイクロマシン・センサシステム、バイオ・マイクロシステムの技術委員会の下で、それぞれ最新のトピックスに関する研究調査活動が行われており、その技術報告を入手することができます。それぞれの技術委員会にて毎年数回開催される研究会の資料を、是非予約申込されるようお勧めします（お問い合わせは電気学会事業サービス課まで）。また、著名な講師による講習会にも参加し、最新のトピックスについて判り易く学ぶことができます。

その他、電気学会に入会されると多くの特典があります。詳細は「電気学会入会のおすすめ」をご参照下さい。

電気学会新規加入の方

電気学会ホームページから入会を受け付けています。 <https://www.iee.jp/>

正員の年会費は1万円です。学部学生や大学院生の方は、学生員として入会金が免除になり年会費は4,800円で、正員と同じサービスを受けられます。

https://www.iee.jp/enrollment/academic_member/

電気学会他部門会員の方

E部門誌の追加加入は年間6,000円です。論文単位で購入（1論文2,057円）することも可能です。なお部門移行も可能です。

（お問い合わせは電気学会まで）編修出版課

電気学会 〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8F

TEL: 03-3221-7302, FAX: 03-3221-3704

電気学会ホームページをご覧ください。 edit@iee.or.jp

[1] 國岡昭夫 「E部門発足の経緯」 電気学会論文誌E 115巻, 1号 (1995) p.2.

[2] 森泉豊栄 「E部門に期待する」 電気学会論文誌E 127巻, 10号 (2007) pp.421-424.



部門大会「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

部門大会である「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、センサ、マイクロマシン、MEMS などに関する我が国最大の講演会です。今年も Future Technologies from KUMAMOTO として、合同シンポジウムを開催します。センサ、マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催されます。

通常発表は6月14日に締切ましたが7月上旬から速報の発表を受付ます。ご応募をお待ちしております。

速報発表申込締切
2023年9月15日(金) 正午
<https://sensorsymposium.org/>



Future Technologies from KUMAMOTO

第40回
「センサ・マイクロマシンと応用システム」
シンポジウム

2023年11月6日(月)~9日(木)

テクニカルセッション 11月6日~8日 | テクニカルツアー 11月9日

同時開催シンポジウム

- 第14回「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」
<https://www.jsme.or.jp/mnm/>
- 第15回「集積化MEMSシンポジウム」
<http://annex.jsap.or.jp/MEMS/>
- 化学とマイクロ・ナノシステム学会
第48回研究会
<http://cheminas.chips.jp/>

テクニカルツアー (11月9日)

熊本大学、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング熊本テクノロジーセンター (SCK熊本TEC) のクリーンルーム見学、東京エレクトロン九州へのテクニカルツアーを11月9日に開催する予定です。
ご希望の方は8月下旬に開始予定の大会参加登録サイトでお申込みください。(先着順)

技術展示会・スポンサー募集中

ご出展機関の皆さまにおかれましては参加者と対面にて製品紹介ができる機会となります。

また、出展者によるショートプレゼンテーションセッションにて、技術を広くアピールして頂けます。センサ、MEMSデバイス関係およびその応用システム製品、各種設計ツール、製造装置、テスト評価装置、測定機器、実装技術関連、材料、書籍等を広く参加者にご紹介いただきたく存じます。ご出展、スポンサーシップのご参加を是非ともお願い申し上げます。技術展示について

<https://sensorsymposium.org/exhibition/>

スポンサーシップについて

<https://sensorsymposium.org/sponsorship/>

